



千曲市議会だより

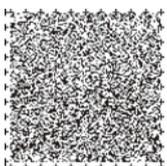
No.78

12月議会

令和3年2月1日発行

みんなの★議会

屋代駅前イルミネーション



(音声コード)

12月定例会 CONTENTS

議案審議結果	……………	P 2
委員会報告	……………	P 4
一般質問（個人）	……………	P 6

議案番号	件名	結果
議案第73号	千曲市戸倉地域福祉センターの指定管理者の指定について	◎
議案第74号	千曲市更埴デイサービスセンターの指定管理者の指定について	◎
議案第75号	千曲市屋代デイサービスセンターの指定管理者の指定について	◎
議案第76号	千曲市あんずの里スケッチパークの指定管理者の指定について	◎
議案第77号	教育委員会委員の任命について	◎
議案第78号	令和元年度台風19号豪雨災害復旧事業五十里川排水機場ポンプ復旧工事変更請負契約の締結について	◎
議案第79号	令和2年度国補災害復旧事業上山田中央緑地復旧工事第1工区変更請負契約の締結について	◎
議案第80号	令和2年度国補災害復旧事業上山田中央緑地復旧工事第2工区変更請負契約の締結について	◎
議案第81号	令和2年度国補災害復旧事業上山田中央緑地復旧工事第3工区変更請負契約の締結について	◎
議会第11号	防災・減災、国土強靱化等に向けた社会資本整備の促進を求める意見書(案)	◎
議会第12号	議案第79号、議案第80号、議案第81号 上山田中央緑地復旧工事変更請負契約の締結に関する附帯決議(案)	◎
議会第13号	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書(案)	◎

請願・陳情結果

番号	請願・陳情の件名	請願・陳情の氏名	結果
請願第5号	千曲市公共施設再編計画の一部見直しを求める請願	森区長会 会長 近藤 公憲 外13名	継続審査
陳情第3号	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情	地域医療と公立・公的病院を守る長野県連絡会 長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子 外7名	採択

議案 … 30件 請願・陳情 … 2件 計 32件

賛否の分かれた議案等については市議会のホームページをご覧ください。



注目!

議案第66号 令和2年度千曲市一般会計補正予算(第7号)の議定について ～特別定額給付金対象者を拡大(千曲市単独事業)～

令和2年4月28日から令和3年4月1日までに生まれたお子さんを対象に「新生児特別定額給付金」として1人10万円を給付する補正予算(案)を、全会一致で可決しました。

12月定例会 (12月1日～12月17日)

令和元年度一般会計及び特別会計の決算を認定

小川新市長就任後初の12月定例会では、千曲市一般会計決算を含む32件の議案等を審議しました。

本定例会において、指定管理者の指定や教育委員会委員の任命などの議案を可決すると共に、上山田中央緑地復旧工事の変更請負契約の締結に関する議案3件については、議会への報告・説明等の不足を指摘し、今後の適正な事務執行を求める附帯決議(案)が提出され、全会一致で可決しました。

議案審議結果

採決結果：◎全会一致で可決・承認・認定・同意 ○賛成多数で認定

議案番号	件名	結果
専決第12号	専決処分事項報告について(千曲市長等の給料の減額に関する条例)	◎
専決第13号	専決処分事項報告について(千曲市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例)	◎
議案第57号	令和元年度千曲市一般会計歳入歳出決算認定について	○
議案第58号	令和元年度千曲市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○
議案第59号	令和元年度千曲市同和対策住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	◎
議案第60号	令和元年度千曲市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	◎
議案第61号	令和元年度千曲市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	◎
議案第62号	千曲市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第63号	千曲市税外収入金に対する手数料及び延滞金徴収条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第64号	千曲市特定環境保全公共下水道事業受益者負担に関する条例を廃止する条例制定について	◎
議案第65号	千曲市下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第66号	令和2年度千曲市一般会計補正予算(第7号)の議定について 注目!	◎
議案第67号	令和2年度千曲市介護保険特別会計補正予算(第2号)の議定について	◎
議案第68号	大池森林総合施設の指定管理者の指定について	◎
議案第69号	千曲市市民交流センターの指定管理者の指定について	◎
議案第70号	白鳥園の指定管理者の指定について	◎
議案第71号	埴生児童センター外8施設の指定管理者の指定について	◎
議案第72号	戸倉老人コミュニティセンター外2施設の指定管理者の指定について	◎

討論とは、本会議や委員会採決に入る前に議題となっている案件について、賛成または反対の意見である理由を述べ、自分の意見に賛成・同調することを他の議員に求めることです。

議案第57号
○令和元年度千曲市一般会計歳入歳出決算認定について

反対

中村 恒彦 議員

賛成

小玉 新市 議員

国保税が高すぎるため、払いたくても払えず滞納する人が増え、収入未済額は増加するばかりだ。
国保加入者は、非正規雇用の労働者や退職後の高齢者が大半を占める。貧困化で国保税が払えずにいる人が大勢いるのに、国庫負担金が減らされ続け、国保税は高騰している。
無保険になったり、正規の保険証を失ったりするなど、生活の困窮で医療機関の受診が遅れたために死亡した事例は長野県でも報告されている。
高すぎる国保税を引き下げるためには、一般会計からの繰り出しが必要だ。しかし引き下げのための繰り出しがされていないため反対である。
合併から15年以上が過ぎ新市の一体感と均衡ある発展を目指して新庁舎・体育館・公共施設の耐震化など財政優遇措置を利用して計画的に進めてきた。令和元年度、財政面では歳入の市民税が転入者の増や経済政策の要因で増加した。産業振興も土地整備事業や企業誘致が進みロケッツアーリズムも評価を得ている。子育て支援策により4年連続で社会人口が増加した。令和元年東日本台風が甚大な被害をもたらしたが、国、県、姉妹都市、ボランティアの皆さんと市長の指示のもと職員の休日返上や長時間勤務体制で素早い対応をされたことは高く評価できる。しかし避難場所等の問題も発生し、今後の対応を求め、令和元年度一般会計決算に賛成する。

福祉環境常任委員会

委員会開催日：12月11日
議案 13件、陳情 1件の審査と所管事項調査

○議案第57号 令和元年度千曲市一般会計歳入歳出決算認定について
運輸通信対策事業費、介護予防地域支え合い事業費、環境衛生事業費等の質疑、人権政策事業費から差別撤廃人権擁護条例改正などの質疑があった

【討論】

賛成 災害対策、コロナ対策をはじめとする各種施策実施の努力を認め、決算認定に賛成する

【採決結果】

全会一致で認定すべきものと決定

○議案第59号 令和元年度千曲市同和対策住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について

問 同会計の今後の方向性は

答 特別会計から一般会計に移行し、返済の償還事務を進める

【採決結果】

全会一致で認定すべきものと決定

○議案第66号 令和2年度千曲市一般会計補正予算(第7号)の議定について(第3款 民生費)

問 市単独事業で令和2年4月28日以降の新生児への特別定額給付金については

答 令和3年4月1日まで対象を拡げ、1人10万円を支給する

【採決結果】

全会一致で可決すべきものと決定

○議案第70号 白鳥園の指定管理者の指定について

問 山崎建設株式会社を指定管理者と選定した理由は。応募は何社か

答 4社の応募がある中で、日帰り入浴施設の運営のノウハウがあり、指定管理経費の削減方策や経営安定度、継続性などから総合的に決めた

【採決結果】

全会一致で可決すべきものと決定

建設経済常任委員会

委員会開催日：12月14日
議案 10件の審査と所管事項調査

○議案第57号 令和元年度千曲市一般会計歳入歳出決算認定について

問 新規就農支援事業の詳細は

答 令和元年度は、市外6名、市内3名の計9名の対象者に、年間一人当たり125万円ほど支給した。水稻・果樹・花卉など複数の品目を組み合わせて新規就農を行なう例が多い

問 中心市街地等まちなか再生支援業務委託料について、戸倉駅の機能向上とにぎわい創出のための取組みは

答 千曲商工会議所への委託事業で、現在、しなの鉄道・住民・商店・旅館経営者等の関係者で意見交換している

【採決結果】

全会一致で認定すべきものと決定

○議案第79号 令和2年度国補災害復旧事業上山田中央緑地復旧工事第1工区変更請負契約の締結について

【討論】

反対 2回にわたる増工に至った経緯は理解

できたが、当初査定額の2倍の金額となった変更契約であり、今後の改善を強く求める意味で、議会全体で審議すべき問題であり反対

賛成 工事の金額については正当な見積もりを重ねた結果であり妥当と確認したが、今後大規模な変更工事が見込まれる場合、都度議会への説明を求める附帯意見をつけて賛成

【採決結果】

賛成多数で可決すべきものと決定

なお、議案第79号、第80号、第81号の審査にあたり、議会の議決を要する契約の変更が見込まれたのに、今定例会まで、議会への報告・説明が行なわれなかったことを担当課に質し、今後適正な事務執行が行なわれるよう、議案第79号、第80号、第81号上山田中央緑地復旧工事変更請負契約の締結に関する附帯決議(案)を提出することを委員会として決定した

委員会報告

12月定例会で提案された議案は、各常任委員会に付託して審査を行いました。主な質疑と審査結果は次のとおりです。

総務文教常任委員会

委員会開催日：12月10日
議案 5件、請願 1件の審査と所管事項調査

○議案第57号 令和元年度千曲市一般会計歳入歳出決算認定について

問 デジタル防災無線について、今後どのように考えているのか

答 現在の防災無線はデジタル化が40%、残り60%が有線となっている。地震の際、有線は断線の恐れがあるので今後は無線化にしていくが、非常にお金がかかるので、計画的に進めていく

問 ふるさと応援寄付金事業について、手数料が53%も占めている。中間業務委託料や代理納付システム使用料も高いがどのようなシステムか

答 中間業務委託料は、インターネットサイトの運営委託料。代理納付システム使用料は、カード決済の際の手数料。ポイントが付くなど魅力があり、一番使われるサイトの委託料が一番高い

問 部活動指導員設置事業ではスポーツ関係者を公募しているのか。どういう立場なのか

答 以前から部活動の指導をされていた方等をお願いをしている。立場は会計年度任用職員

問 図書館のシステム借上料が前年の倍になっている理由は

答 平成30年の年度途中でシステム業者の変更があり、入替をしたため金額も変わった。インターネットで借りたい本を予約ができるシステムを導入したので、機能的には相当向上した

【討論】

反対 払える額の国保税にするために、一般会計から国保会計へ法定外繰出をするべきだが、されていないので反対する

【採決結果】

賛成多数で認定すべきものと決定

問 公共施設再編計画に関して、戸倉上山田地区の窓口機能復活の地域要望と、他の地域要望との対応の違いの理由は。

答 他の地域要望と違い、戸倉上山田地区の窓口機能復活は、既存の公共施設を利用し、人件費・事務経費も必要最小限の範囲で計画することで、再編計画の基本である公共施設の総量縮減に逆行しないように対応する。

問 森地区のあんずの里観光会館の地元譲渡を進めていくことについて市の考えと、譲渡後の観光振興策は。

答 年間の利用状況を踏まえ、他の「使用実態が地元の集会所施設」と同様であることから地元譲渡を進めていく。譲渡後も「あんずまつり」開催期間中の重要施設として、必要な期間に施設を借りる形でイベントを実施していきたい。また、協働事業として「あんずの里の将来を考えるアンケート」を森地区に全戸配布した。このアンケートをもとに来年度以降に課題解決のための事業に取り組みしていきたい。



林 慶太郎

「あんずの里」について

問 県宝と市の指定文化財が保存されている森地区の観龍寺の茅葺き屋根修繕補助の予算が今年度措置されているが、執行されていない理由は。

答 地元保存会との計画では、地元寄附金と市の補助のほかに、県の補助がなければ事業は実施できない状況にある。県にも補助の追加要望をしていたが、コロナ禍の影響もあり今年度の県の補助措置が不可能となった。県には来年度の補助要望を継続して出しており、県の補助が確定次第、補助していきたい。



▶劣化が進み、茅葺きが落下してしまっている観龍寺の屋根

問 「気候非常事態宣言」について市の対応は。

答 地球温暖化に伴う気候変動の影響は、「令和元年東日本台風」をはじめ極めて深刻な問題として捉えている。

令和元年11月の県の「気候非常事態宣言」に続き、市も令和2年2月「千曲市気候非常事態宣言」を表明しており（私も共感し）、強力に推進する。また、同年10月の「首相所信表明」では「2050年カーボンニュートラル」を表明された。市としても国等の動きを注視し、「第二次千曲市地球温暖化対策推進計画」の見直し等市民と一丸となって温暖化対策を推進する。

問 企業等の立地推進は。

答 人口減少や高齢化が進み、地方自治体の財政ひっ迫が増し、どこも「自主財源の涵養」に知恵を絞っている。

「屋代地区」の大型開発、「雨宮産業団地」、「八幡東産業団地」などが生み出す波及効果は多大であり、将来の税収は住民サービスの向上に寄与すると考える。市民の



中村 眞一

新市長「所信表明」の重点課題を問う

皆さんと情報共有し、立地推進する。

問 「第三次千曲市総合計画」の策定について。

答 「第二次総合計画後期基本計画」策定にすでに着手していたが、新市長として「新たな千曲市の将来像を目指し基本構想から作り上げる」思いで令和4年度から始まる「第三次千曲市総合計画」を策定する。そして「文化伝承創造都市・千曲」をテーマに将来像を市民と共に創り上げたい。



▶所信表明 千曲市長 小川修一

一般質問（個人）

15名が
市政を問う！

日程	掲載頁	氏名	通告事項
12月7日(月)	7	林 慶太郎 (自由民主クラブ)	1 公共施設再編計画について 2 「あんずの里」について 3 観龍寺について
	7	中村 眞一 (新政クラブ)	1 新市長の所信表明を聞いて 2 令和元年度一般会計決算について
	8	飯島 孝 (千風の会)	1 新型コロナウイルスの対応について 2 安心して子育てができるまちづくりについて 3 高齢者にやさしいまちづくりについて
	8	宮下 繁明 (一志会)	1 小川市長の基本的な政治姿勢について 2 地域格差の解消について 3 屋代地区大規模商業施設の開発について
12月8日(火)	9	中村 恒彦 (日本共産党千曲市議団)	1 台風などの災害対策について 2 森林有効利用について 3 新型コロナウイルス対策について
	9	滝沢 清人 (公明党)	1 厳しい社会情勢の中「誰一人取り残さない」市民福祉の充実を 2 「災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまちづくり」の実現へ
	10	川嶋 敬信 (一志会)	1 新型コロナウイルス対策について 2 歴史・文化財の観光活用について 3 入札・契約制度の改善について
	10	吉池 明彦 (一志会)	1 「新型コロナ禍に対する支援」について 2 「第5次行政改革」の推進について 3 市民の「安全・安心」の確保について
	11	聖澤 多貴雄 (千風の会)	1 市長の所信表明について 2 令和元年東日本台風（19号台風）復興について
12月9日(水)	11	倉島 さやか (無党派)	1 結婚、子ども・子育て政策について 2 ICT教育、GIGAスクール構想について 3 新たな移住定住促進、企業誘致
	12	北川原 晃 (新政クラブ)	1 日本遺産の活用について 2 千曲市差別撤廃人権擁護条例について 3 中心市街地活性化計画について
	12	前田 きみ子 (日本共産党千曲市議団)	1 千曲市に計画がある競輪場外車券売り場について 2 千曲市の社会保障について
	13	金井 文彦 (千風の会)	1 「千曲市を変える」その本意と覚悟を新市長に問う
	13	小玉 新市 (一志会)	1 第1学校給食センターについて
	14	田中 秀樹 (無党派)	1 定住人口を増やす政策について 2 人材拠点構想について



飯島 孝

住みたいと思うまちづくりのために

問 新型コロナウイルス第3波に対する対応は、季節性インフルエンザと同時流行の防止のためには。

答 これからも3密を避ける。マスクを着用する。大声を出さないの基本的な感染予防対策の徹底と、会食や職場での感染を防止するための行動等について、様々な広報媒体で協力をお願いしたり、必要な情報の提供をしていく。またインフルエンザワクチンについては、積極的な接種を勧め、重症化リスクのある方は接種を受けられるよう、優先期間を設け市報・ホームページ・医療機関で周知し、市民の皆さんには個人で出来ることは継続していただくよう啓発していく。

問 子育てが安心して出来るためにも、小・中学校の給食費を無償にしては。

答 無償化の目的は、少子化対策、定住・転入の促進、保護者の経済的負担の軽減、子育て支援等々であることは理解している。しかし全額無償にすると相当な財源が必要になることから、当面保護者のご負担をお願いする。

問 循環バスが利用しやすい制度になるための改正をする考えは。

答 高齢者にやさしい、利用しやすい循環バスに向けた市の取り組みとして令和元年度から2カ年で循環バスの車両をノンステップバスなどの乗降時の負担を低減する車両に更新をしている。また循環バスのダイヤ改正・運行体制の見直し等もしている。将来において、限りある交通資源を、効率的に活用するため、交通事業者をはじめとした関係者と役割分担や協力をし、持続可能な公共交通ネットワークの形成を図っていく。

3密を避けましょう	外出から帰ったら…「手洗い」忘れず!
外出のときはマスクを着用してください	身体的距離(できるだけ2メートル)を確保しましょう

▲新型コロナウイルスから身を守る為に毎日励行を



中村 恒彦

田んぼダムで台風災害の対策を

問 昨年のような台風災害から市街地への浸水を防ぐため、霞堤の閉鎖ができるよう大型土のうが積まれた。結果的に千曲川下流域住民へ負担をかけるようになる。農家の方にご協力いただき、田んぼに可能な限り雨水をためることで、遊水地としての大きな役割が期待できるかどうか。

答 信濃川水系緊急治水対策プロジェクトで検討されている様々な取り組みの一環として、農家の協力を得て、現実的に可能か、今後研究していく。

問 市有林などの整備に伴って間伐材が発生するが、採算が取れないときには搬出せず林床に切り捨てられる。木材は腐敗するときに二酸化炭素やメタンガスを発生し地球温暖化の原因となる。間伐材を有効利用するのは私たちの責任である。希望する人に市報などで情報を提供してはどうか。また、新割り作業に役立つエンジン式新割り機を購入し市民に貸し出してはどうか。

▲全ての人にいき届くような経済対策を

んでいく。薪割り機については研究をする。

問 ベイベイ残高の支払いで最大30%が戻ってくるキャンペーンは利用者に限られる。千曲市ががんばる事業者応援クーポン券はみんなが使い、好評だった。クーポン券のような事業に力を入れるべきだと思うがどうか。

答 それぞれに目的がある。しっかりと制度設計をしていく。
【その他の質問】
○生活困難者に貸付型でなく給付型の支援を。



宮下 繁明

新市長の基本姿勢は 何をどう変えるのか

問 新市長は千曲市になって初の民間出身であり市民の期待は大きい。選挙戦で「千曲市を変える」と訴えたが、千曲市の何をどのように変えるのか。

答 市民感覚を大切にして市職員意識改革をはかる。市民へのサービス精神、柔軟な発想、前例に捉われずに新たなことに挑戦する集団にする。市民の税金を自分のお金と同じように扱い、コスト意識を徹底し戦略的にスピード感溢れる市政に変える。

問 地域間格差の解消、防災の拠点としての支所の設置は重要。公約である戸倉上山田への支所の設置については。

答 支所については特に要望の強い上山田地区の公共施設に来年4月からと考えている。内容については協議中。

問 区・自治会役員のみならず不足や財源の不足、地域課題を解消するため長野市や上田市で設置している住民自治協議会が千曲市にも必要ではないか。

答 地域住民が主体のまちづくりのために必要と考える。令和6年の

の設置を目標としている。

問 屋代地区商業施設開発について前市長は今年度中に進出企業を決めるとしていたが現状は。税収が30年間で60億円としているが何年後の開業を想定しているか。総事業費が3カ月の間に40億から45億に増えた理由は。スマートICの完成はいつか。市民への情報公開はいつどのような形で行うか。

答 進出検討企業とは交渉中だが、合意はない。35haすべての税収は年2億円を想定するが、開業時期は未定。総事業費は概算の積み重ねで5億円増えた。スマートICの設置は国の判断によるが、採択後6年ほどかかる。市民へ情報公開は今年度中に行う。



▲支所設置を検討中の旧上山田庁舎



滝沢 清人

究極の地域共生社会 アウトリーチ福祉を

問 コロナ禍で益々深刻化する社会情勢、生活の二極化が更に顕在化し、特に女性の生活困窮が際立つ。評判のいい市の福祉だが、『助けて』と声を出せない人を地域と共に発見し、新たな制度で救い上げていくアウトリーチ福祉の組織(CSW)を創る時ではないか。

答 コミュニティソーシャルワーカー(CSW)のような地域課題を丸ごと受け止めコーディネートする人材は必要不可欠と考えるが、当面は今の体制で公民一丸となって「誰一人取り残さない」地域づくりに取り組み、提言の理想形に向けてできるだけ頑張る。

問 千曲市の地形で最も怖い災害は、再びの大型台風襲来による大水害、土砂災害と合わせると最悪9割を超える市民が被災する。避難場所がごく限られる中、広域避難をするマイタイムラインの必要性を繰り返し発信すべきだ。

答 ご指摘のとおり市では避難できる場所は限られ、大規模避難施設を整備には時間が掛かる。行政も地域のタイムラインについてサポートしていくが、市民の皆さん

社会福祉法人 柏原市社会福祉協議会
日々の生活の中で困ったなあ...と思ったらご相談を!
コミュニティソーシャルワーカー(CSW)
近所の〇〇さん、いつもと様子が違うなあ... 今後の生活に不安がある... 家族が引きこもっている...
そのお困りごと、ぜひご相談ください
相談無料! 秘密厳守!
月～金曜日 9:00～17:00
▶柏原市CSWのチラシ、全国に導入が進むアウトリーチ福祉

には危機管理意識を持っていただき、早めの分散避難へマイタイムラインを作っていたいただきたい。
問 コロナ禍で、ひとり親世帯の高校生世代が支援の対象から取り残され、退学を考える学生が増えている。明石市は定員30人で、非課税世帯を対象に給付型奨学金制度を開始した。

※アウトリーチ福祉=支援が必要であるにもかかわらず届いていない人に対し、行政や支援機関などが積極的に働きかけて情報・支援を届けるプロセス。
※CSW=地域の人材やシステムを活用して困っている人を支援する。



川嶋 敬信

一重山城（屋代城）跡の公園化について

問 「屋代城跡」を里山歴史公園にしようと活動しているガーデンデザイナーの越洋子さんや、賛同しているまちづくり団体の皆さんの意見をふまえ、この素晴らしい資産の保護・保存の整備を行い、公開・活用が必要と思うが、市としてどのような対応をするか。

答 平成9年に一重山を科野の里歴史公園に含めて公園化する構想があったが、財源の問題と市民の機運の高まりがなかったことから公園化事業は見送った。今後市の活性化や観光資源化につながるかについて、まちづくり団体の皆さんと共に研究してまいりたい。

問 「月の都 千曲」の日本遺産認定は歴史文化財センターの功績だが、今後の担当部署については市長部局で指導力を発揮し、稲荷山の重伝建等とも連携したブランドイメージをアピールする必要があると思うが。

答 姨捨棚田を中心に日本遺産に認定されたことは先人たちの叡智と努力の賜物で千曲市の宝。担当部署については、司令塔となる組織について、新年度からの設置に



▲眺望 100 選にも選ばれたことがある景色も、木々に覆われ残念な景観（一重山から望む）

向け検討する予定である。
問 市が行う契約、いわゆる公契約がより適正に行われるよう条例の制定を求めるがいかがか。また、工事実績情報システム「コリンズ」の登録義務を現在の2500万円から、500万円以上の工事に義務付けるよう求めるが。

答 公契約については県内の動向、長野市の条例制定に向けた状況等を研究していく。またコリンズ登録は500万円以上の工事に、来年5月から変更する予定。



聖澤 多貴雄

「屋代南高校存続」「霞堤遊水地整備」

問 屋代南高校存続について今までの経緯はどうか。

答 県教育委員会が進める高校改革の基本構想・実施方針に基づき令和元年より令和2年まで4回、旧第4通学区の地域協議会を開いた。県教育委員会が明言している事は「地域の協議会」の意見・提言を踏まえ、全県的な視野に立つて「再編・整備計画」を確定するというものであり「地域の協議会」における委員の皆さんに、屋代南高校の現状や課題、地域への貢献や期待等について情報提供し議論集約に役立てたいと考えている。
問 屋代南高校を将来どう残すことが望ましいか。

答 駅から5分の地理的優位性があり地域のまちづくりに無くてはならない。多様な学びの場を確保するために、普通科にライフデザイン科を併設し、多部制・単位制を導入すること、より柔軟な学習システムを同時に組み込む学校環境の実現を目指している。
問 霞堤の遊水地整備について。
答 千曲市内では2カ所を候補地として令和6年度を目標に整備す



▲存続が望まれる屋代南高校

る。本堤防の上流側に越流堤を設け洪水時に一時的に遊水地に貯留し千曲川の水位上昇を遅らせることで下流域の流量を低減させる。同時に周囲堤により市街地への流入を防止できる。遊水地整備には掘削せず地役権を設定する方法と底地を掘削し用地買収となる場合がある。関係する地域の皆さんに丁寧で説明してご理解をいただきながら令和6年に向けて整備に取り組んでいく。



吉池 明彦

戸倉上山田の活性化 市民の安全安心確保

問 観光業界への更なる支援策、又中小企業には「承継補助金」を。

答 観光振興策については、コロナ禍で見直しを迫られている。今後、独自の支援策について検討する。事業承継は今後ますます大きな課題と考える。アドバイザーが各企業を訪問し、しっかりと県の専門の窓口につなげていく。

問 「総合運動公園構想」の進捗と「まちづくり」の拠点への考

答 「スポーツ健康宣言都市」の実現に向けて、今年度は戸倉体育館周辺のエリア別活用方針図をまとめる。「まちづくり」は「ローカルファースト」の考え方で地元事業者が活躍できるように、総合計画に具体化の検討をする。

問 行政改革「スリムな行政体制」の「事務事業の見直し」と「組織体制」は。

答 法規制の無いすべての審議会・個別計画や協議会・委員会なども見直す。市民窓口を上山田地区に設けることを検討する。行政改革の趣旨を十分配慮し、4月を目途に地元との協議の上進める。



▲公園構想を待つ戸倉体育館

問 市民の安全・安心の確保と「逃げ遅れゼロ・流域治水」対策は。

答 「マイタイムライン」の作成を普及啓発する。避難計画書は各地域が要支援者に対する支援者を定め避難が確実にできるように市も支援していく。「流域治水」対策として市は宅地開発時、原則雨水は敷地内処理とし、個人の雨水貯水タンク設置に補助する。公共空間や農業用幹線水路も雨水貯留槽として活用を図る。改訂ハザードマップは3月配布する。トップは有事の際、状況を的確に判断し対応を決定する。人命保護を第一に安全安心の確保に努める。



倉島 さやか

新市長の新たな政策について

問 結婚、子ども・子育て政策について伺う。晩婚、未婚政策について。

答 情報化が進展する現代の状況下の中では、情報があふれ、年齢層によっては、結婚に対する考え方も多様化してきている。これまでの取り組みをさらに充実させるとともに、今後は、既成概念にとらわれないこと、アプリやオンラインなど活用する仕組みを研究していく。

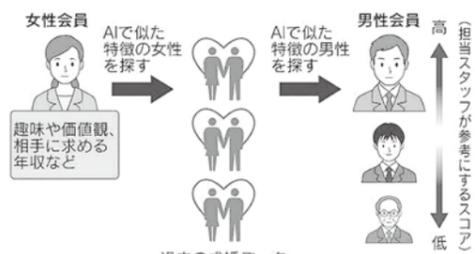
問 政府が予算化を発表したAI婚活について。

答 研究し、有効性があれば活用したい。

問 保育士の確保、対応策、ICTの活用について。

答 千曲市の保育士は、保育業務の負担による離職は無いと把握している。システム導入については現在、調査研究を進めている。
問 GIGAスクール構想について、準備段階ですでに地域格差が生じている。支援員確保等、教育へ予算をつけるべきである。
答 教員の負担増は課題である。財源の問題はあるが検討する。

AIを活用した婚活サービス



▲政府が予算をつけたAI婚活イメージ

問 脱炭素社会へ向けた取り組みについて。

答 市としても推進していく。企業の取り組み支援も検討を進める。

問 市長所信表明にあった地域通貨について。
答 稼ぐ地域の仕組みづくりとして、地域通貨・地域ポイント制度の創設について調査・研究を進めていく。



北川原 晃

日本遺産の推進、総合運動公園事業など

問 今の縦割り行政では日本遺産を活かした事業や娘捨ビュイポイント事業等を推進していくのに時間がかかり過ぎている。専門部署を設置すべきでは。

答 司令塔となる組織を新年度に設置して、スピード感を持って対応する。その上で日本遺産の活用をより推進していく。

問 平成15年に制定された「千曲市差別撤廃人権擁護条例」を、平成28年に施行された部落差別解消推進法や社会の変化に合わせた条例に見直し改正すべきでは。

答 当市の条例はあらゆる差別のない明るい社会の実現に寄与することを目的とし、同和問題も解決に向けて取り組んでいる。条例の見直しについては社会の実情や県の動向、他市の条例も調査し研究していく。

問 白鳥園の利用促進策として多目的広場の活用をどのように検討しているか。

答 白鳥園の指定管理者からのユニークな提案もあり、市内の各種団体とも連携し、若者が魅力を感じるイベントや、日本遺産も活か



▲白鳥園の敷地内にある未利用地の活用計画は平成29年度から検討されている

した利用を実施して、白鳥園の利用促進に繋げていく。
問 戸倉体育館の建替えや名月荘跡地の利用策など、温泉を活かしたスポーツ都市構想に基づく「千曲市総合運動公園」事業の進捗状況は。
答 「総合運動公園構想」は戸倉上山田温泉の活性化、交流人口の増加や市民の健康増進を図るための施策であり、「利用方針」については策定中で、今年度末までにはまとまる予定。



金井 文彦

千曲市を変える その本意を新市長に問う

問 水害被害の中心、杭瀬下地区や栗佐地区の住民は、尾米川や伊勢宮川のポンプ場の能力強化や堤防嵩上げなどを強く望んでいるが、このような被災住民の切実な声にどう答えられるか。

答 尾米川、伊勢宮川、雨宮の各ポンプ場の耐水化整備を進めるとともに、次年度以降、出水期に「パッケージポンプ」の配備を計画している。

問 自助・共助を基本とした地域の防災力を強化するためには市民一人ひとりの防災に対する意識の醸成が必要と考えるが、具体策は。
答 地区ごとの防災計画の地区主体での策定を進める。地域に職員が出かけ、地区防災計画やマイタイムラインの策定作成をお手伝いしながら、住民の防災意識を高めていく。

問 所信を聞く限り、小川市長の描く千曲市の将来像は、第二次総合計画の掲げた市の将来像と重なり合う部分が多い。強調したい違いは何か。
答 目指すゴールに向かって考え

る戦略の違いや提供するサービスの質の違い、結果としてゴールにたどり着くスピードが違ってくるものと考えられる。

問 市長が所信で述べた「戸倉上山田地区の市民窓口」の復活の是非を「市民の声を聞く会」において、広く市民に考えてもらうことはできないか。
答 スピード感を持って対応するとした私の公約であるので設置を進める。

問 これまで多くの場で発言されている小川市長の「覚悟」とは。
答 市民のため、千曲市のために何をどうすべきか、覚悟なくして責任ある判断はできない。

「千曲市を変える」小川市長の手腕に期待する



▲「千曲市を変える」小川市長の手腕に期待する



前田 きみ子

長野県に一つもない競輪車券売り場

問 市長の公約娘捨棚田の景観保全と見直しについて、小川市長は、「地権者と経済産業省との間で決める話だが、周辺は風光明媚な場所である。計画の進み具合を確かめ初期段階であれば、市としても見直しを求めていく。」といっているが景観保全との関係性は。
答 車券売り場の設置は地域のブランドを損なうおそれがあると考えられているが、経産省の事前審査の終了や、関係地域の地元が賛成していること、事業に違法性がないことなどから、見直しを求める状況にはないと判断した。

問 住民の意見は、2017年地元区長が同意したからで、地元区長の意見を聞いて同意した訳ではない。しかし、事業者は地元が同意しているからと他地区へ同意を求める書類を出している。地元区民総会では反対の決議がされている。区の最高決定機関での議決は地元区民の規約に則ったものだ。
答 反対の決議の後、誘致賛成署名が集まったことから賛成の同意

書を経産省の事前審査に提出したことは承知している。
問 区民総会では、反対の決議がされている。区の最高決定機関の規約に則ったもので有効である。事業者は15時から20時までナイターを行うといっているが児童生徒の通学に危険がある。
答 経産省の審査及び警察協議で交通の安全性が協議されると認識している。



▲娘捨棚田から、計画がある競輪場外売りを望む



小玉 新市

第一学校給食センターについて

問 第一学校給食センターの候補地選定はどのような検討を行い今の場所に設定したのか。
答 平成21年より千曲市学校給食センター管理運営等あり方検討委員会が8回にわたり研究協議を重ね、公設公営2ブロックセンター方式とする提言書が出され、平成22年に建設基本構想が策定され計画的に建設を進めてきた。建設候補地としては稲荷山2カ所、新田地区に1カ所選定し比較検討した経緯がある。4名の土地の地権者のうち1名が土地を売却した件については地権者間の個人的な売買であり承知はしていない。

問 1食当たりのコストが高い理由は何か。
答 安全安心な給食を提供するため、できるだけ国産のものを使用していることから価格は割高になる。機械化等により大量に規格の整った食材が生産できる地域と比較して地元食材の方が割高になる。調理においても厳しい衛生管理基準を遵守するため設備や作業面などでそれに応じた経費が必要となる。

問 児童生徒数が減少しているにも関わらず調理に関わる職員が減少しないのはなぜか。
答 給食の提供は学級単位で行われており学級単位で食缶や食器類を準備・配送し教室においては配膳喫食するため、児童数が減少しても学級数が減少しないと調理作業の手間は変わらない。平成22年学級数は183、平成29年は191学級となっている。将来的には適正な規模の給食センターになるよう研究していく。



▲より改革を求める第1学校給食センター

10/8 タブレット端末操作研修会

会議資料等の印刷製本費や紙資源のコスト削減のためペーパーレス会議システムの導入に向けた、タブレット端末の操作研修会をオンラインにより開催しました。



10/15 総務文教常任委員会

日本遺産に登録された姨捨の棚田、八幡の松田家斎館、更埴文化会館（あんずホール）の現地調査を行い、担当職員より説明を受けました。



11/6 福祉環境常任委員会

旧戸倉庁舎に移転した千曲市社会福祉協議会の現地調査を行いました。内装などはほとんどが以前のままで、ゆったりとした空間で熱心に仕事をされていました。



11/18 議員研修会

北海道大学大学院法学研究科・公共政策大学院教授の宮脇 淳氏による「市の財政状況について」の研修会をオンラインにより開催しました。研修会では、市の財政状況をあらゆる面から分析し、県平均や類似団体と比較をするなど、予算や決算の数字から見える千曲市の将来像について解説していただきました。



問 4年連続社会増の要因は、交通の利便性や地価の安さ、市道千曲線の開通にもなう商業施設の集積、加えて子育てや福祉など、市が取り組んできた様々な支援事業が少しずつ成果を挙げたきたものと考えている。

答 千曲市社会福祉協議会と実施している結婚相談の登録者を増やし、婚活イベントへの参加を促すとともに、他の自治体などの先進的な取り組みを研究し、婚活事業の発展を図っていく。

問 晩婚化、晩産化が進んだことにより、日本は世界一の不妊治療大国になった。学校において、家族やパートナーを持つことの意味、年齢と妊娠の関係など、ライフデザインを考える機会をもっと設けられないか。

答 将来の結婚・出産などの選択、



田中 秀樹

人口急減を食い止めるために

千曲市の出生動向

年次	出生数	合計特殊出生率
平成28年	403	1.48
平成29年	392	1.48
平成30年	388	1.54
令和元年	341	1.40

▲少子化が止まらない

決定については、児童生徒の自己決定権を尊重しながら指導を進めている。家庭科、保健体育、キャリア教育、地域学習などを通じ、自分のライフデザインを考える機会を一層大事にしていく。

問 市長の所信にあるデジタル人材の拠点化をどのように進めるか。

答 ワークেশョン事業や市内のテレワーク環境整備を行うことと、IT企業・専門学校との誘致を図ることにより、そこで働いたり学んだりするデジタル人材が集積する拠点となると考える。

※社会増＝転入から転出を差し引いた数がプラスになること。転入超過。
 ※完結出生児数＝結婚した夫婦の最終的な子どもの数。平成27年に実施された「出生動向基本調査」では1.94人。

議員活動

コロナ禍により、現在視察等を自粛しております。

10/1 公共施設等総合管理計画に関わる勉強会

新任議員を対象に、市の公共施設等の取り組みや、市の方針等についての勉強会を行いました。



10/7 新国道上田篠ノ井間建設促進要望活動

新国道上田篠ノ井間の早期建設に向け、国土交通省関東地方整備局へのオンラインによる要望活動を長野県庁にて行いました。千曲市議会からは和田英幸議長が参加しました。



議会日誌

9月定例会終了後から12月定例会までの議会活動の紹介です。

9月

- 28日 福祉環境常任委員会
- 29日 総務文教常任委員会
- 30日 建設経済常任委員会

10月

- 1日 議会運営委員会
公共施設等総合管理計画に関わる勉強会
(新任議員)
- 2日 議会全員協議会
- 5日 千曲衛生施設組合議会定例会
- 6日 議会広報特別委員会
- 7日 新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会要
望活動(オンライン要望)
- 8日 タブレット端末操作研修会(オンライン研修)
六ヶ郷用水組合議会定例会
- 9日 千曲坂城消防組合議会定例会
- 14日 議会広報特別委員会
- 15日 総務文教常任委員会
- 27日 議会運営委員会
- 29日 建設経済常任委員会
葛尾組合議会定例会

11月

- 6日 福祉環境常任委員会
長野広域連合議会運営委員会
- 9日 正副委員長会議
- 11日 議会運営委員会
- 16日 長野広域連合議会定例会
- 18日 議員研修会(オンライン研修)
- 24日 議会運営委員会
議会広報特別委員会

12月

- 1日 議会全員協議会
令和2年第5回(12月)議会定例会開会
- 7日 一般質問(個人)
- 8日 一般質問(個人)
- 9日 一般質問(個人)・議案審議
議会全員協議会
- 10日 総務文教常任委員会
- 11日 福祉環境常任委員会
- 14日 建設経済常任委員会
- 17日 総務文教常任委員会
議会運営委員会
会派代表者会議
令和2年第5回(12月)議会定例会閉会

3月定例会予定

【3月】

1日	(月)	本会議	開会
8日	(月)	本会議	一般質問(代表)
9日	(火)	本会議	一般質問(代表)
10日	(水)	本会議	一般質問(個人)
11日	(木)	本会議	一般質問(個人) 議案審議
12日	(金)	委員会	総務文教常任委員会
15日	(月)	委員会	福祉環境常任委員会
16日	(火)	委員会	建設経済常任委員会
19日	(金)	本会議	委員長報告・討論 採決・閉会

※議事の都合により、日程が変更される場合がありますのでご了承ください。

議会を傍聴してみませんか

どなたでも傍聴できます。傍聴人受付簿に住所・氏名・連絡先を記入し入場してください。

※新型コロナウイルス感染症予防の観点から感染拡大防止対策を実施しております。詳しくは、市議会のホームページをご覧ください。



今後の予定

議会日誌



今月号の表紙は……

屋代南高校と地域の協働イルミネーション

昨年12月8日より屋代駅前に飾られたイルミネーションは、平成20年に始まり、屋代南高校の生徒会の皆さんが一からデザイン・制作を行い、屋代駅前通り商店街の皆さんと協働で飾り付けをしています。今年のテーマは「地域の方々が元気になれるように」と、「コロナに打ち勝つ」です。その二つの思いが込められた「スマイルやしろ」と「アマビエ」やモニュメントを中心に、駅に来た方々をお出迎えしています。2月24日まで点灯していますので是非ともご覧ください。



市民の声



中村 和彦さん
(戸倉)

未来の子供達のために

ある県では、県外の大学等へ進学した人が地元に戻ってきて、地元へ就職すると、県から借りている奨学金を返済しなくてもよい制度があるそうです。現在コロナ禍で返済も大変な時です。若者の県外への流出を防ぐため、地元に戻ってきて住んでもらえるように、未来の子供達のために、少しでも補助できるように税金の使い方を考えていただければと思います。

千曲市も新市長が誕生したので、税金の無駄遣いをしないように、自分のお金だと思つて、使い道をよく考えてよりよい千曲市にしていただけよりよい千曲市に期待しています。



本間 三枝子さん
(八幡)

姨捨に住んで7年

この地に移住し、早7年が経ちました。元々、長野市の出身で実家の近くに移住先を探していた所、千曲川と棚田が見渡せる素晴らしい姨捨の景色に魅了され、この地に決めました。四季折々の楽しみを満喫しつつ、この素晴らしい環境を人々にも味わって頂きたいと思い、5年前から古民家カフェを開店致しました。その後雑誌、テレビにも取り上げて頂き、県外のお客様も多く、中でも移住希望の方も何人か見えました。若い方は、勤務先が中々見つからないという事で、断念されるケースもありました。千曲市は便利で住みやすく良質な温泉もあり、日本遺産の棚田など、本当に良い所です。もともととアピールして移住しやすい環境を作って頂けたらと思います。

「議会・市政に関する記事」を「メール」に寄稿いただきました。

議会だよりについてのご意見をお寄せください

『みんなの議会』のさらなる充実をめざし、広く皆さまの意見を募集します！
お気軽にご意見をお寄せください。



■記入事項

①住所 ②氏名 ③議会だよりへのご意見

■提出方法

上記事項を記入し、ハガキ、メール、ファックスによりお送りください。

■宛先

〒387-8511 千曲市杭瀬下二丁目1番地
千曲市議会 議会広報特別委員会
E-mail : gikai@city.chikuma.lg.jp
FAX : 026-272-0765

編集後記

12月議会は、10月の市長選で初当選した小川市長の所信表明で開会しました。一般質問では市長の施政方針を巡り、基本姿勢や前市政との違いを問う質問が相次ぎましたが、議会と新市政は「千曲市をさらに良いまちにしたい」という同じ目的に向かって、今後も建設的な議論を進めてまいります。

(北川原 晃)

議会広報特別委員

委員長	滝沢 清人
副委員長	飯島 孝
委員	北川原 晃
	吉池 明彦
	中村 恒彦
	宮下 繁明
	田中 秀樹
	林 慶太郎

千曲市議会だより

発行/長野県千曲市議会 TEL 026-272-0199(直通) FAX 026-272-0765
ホームページ <http://www.city.chikuma.lg.jp> E-mail : gikai@city.chikuma.lg.jp
発行責任者/千曲市議会議長 和田英幸 編集/議会広報特別委員会
印刷/寺沢印刷(千曲市大字八幡 2069番地7)

●千曲市議会だよりは、地球環境に配慮して再生紙(古紙配合率70%)を使用しています。